



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成24年7月30日

No.

109

第2回(6月)定例会

- 第2回(6月)定例会報告…………… 2～5ページ
- 委員会レポート…………… 6～9ページ
- 一般質問 (12人登壇)…………… 10～15ページ



こんなことが 決まりました

第2回 6月 定例会

第2回定例会を6月6日から6月26日まで開催しました。一般質問では12人の議員が行政の課題をたどしました。山梨町長の施政方針演説ののち、平成24年度補正予算、第三次葉山町総合計画後期基本計画の策定について等議案17件を審議しました。町民からの請願・陳情は各委員会へ付託されました。

◎葉山町税条例の一部を改正する条例
間、平均2.3%削減するものです。

◎葉山町印鑑条例及び葉山町災害見舞金支給条例の一部を改正する条例
以上2件は、法律の改正に伴うものです。

◎第三次葉山町総合計画後期基本計画の策定について
特別委員会を設置して全会一致で否決しました。

◎葉山町青少年会館条例の一部を改正する条例
建替えに伴い、会館の住所を変更するものです。

◎財産の取得について
救助工作車更新とそのための救助資機材及び塵芥収集車の更新です。

◎教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
町長は20%、教育長及び副町長は10%削減するものです。

◎人権擁護委員の推薦について
新たに高山節子氏を推薦するものです。

◎葉山町議会の議員の報酬の特例に関する条例
平成24年7月から2年間、2.5%削減するものです。

◎葉山町一般職の職員の給与に関する条例及び葉山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例
平成25・26年度の2年



青少年会館

補正予算特別委員会

補正予算質疑

笠原俊一議員を委員長とし、長塚かおる副委員長 長鈴木道子・窪田美樹・中村文彦・横山すみ子の各委員で設置しました。

問 マニフェストをどの程度反映したか。
町長 さまざまな観点からとらえた結論ではある。

6月8日付託された一般会計補正予算及び特別会計補正予算審査は、6月11日、担当部課長の出席のもと審査を行いました。一般会計で約1億1100万円。4特別会計全体で、約200万円の減額補正で、総額1億900万円のものでした。

問 太陽光発電補助は、件数だけでなく補助額を増やすような考えは。
町長 設置を待っている状況なので件数を増やすことが大事である。

・小学校耐震整備事業 431万円
・美術品展示事業 102万円
・介護予防サービスに対する支援事業及び運営協議会に要する経費 45万円
・地球温暖化対策事業 208万円
・職員の人件費及び管理に要する経費 3209万円減

問 6年生まで医療費無料化への計画は。
町長 特に計画はない。

・福祉文化会館の文化事業に係る費用 124万円
・小児医療費助成事業 273万円

問 なぜ中期財政計画でなく財政見直しなのか。
町長 以前は見直しであり、基本的な違いはなかった。見直しとして詳細を集め、本来の中期財政計画としてもう一度出し直すべきと考える。

・防災対策事務運営事業 553万円
・自主防災組織防災資機材購入事業 150万円
・防災行政無線再整備事業 8610万円

問 文化公演事業を福祉サービスとの面、子育て面と平行線で見えていくべき。

歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会 計 名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一 般 会 計	8,748,000	111,242	8,859,242
特 別 会 計	国民健康保険	△900	3,733,519
	後期高齢者医療	△186	765,742
	介護保険	△319	2,441,869
	下水道事業	△533	1,190,787
	小 計	△1,938	8,131,917
合 計	16,881,855	109,304	16,991,159

町長 音楽は各年代共通のものであり、いろんな角度からより手厚い町文化を目指していく。

問 変圧器交換の補正が組まれているが、各施設が老朽化しており、補修の計画を立てるべきでは。

町長 故障の可能性があるものについても、総点検し修繕計画をまとめる。

葉山浄化センター
1-2系水処理施設修繕
1260万円



町長行政報告
(1千万円以上
5千万円未満の契約)

意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定により、国会または関係行政庁へ送付しました。紙面の都合上、内容は要約しています。

神奈川県最低賃金改定等に関する意見書

最低賃金制度は賃金格差を是正するために必要不可欠な社会的セーフティネットの一つであり、その機能を真に有効なものとするためには、地域別最低賃金の改善、企業内最低賃金協定の締結拡大を進め特定最低賃金による事業の公正競争の確保、均等・均衡待遇が重要な課題である。

国及び関係機関におかれては、神奈川県最低賃金の改定に当たって、次の事項を実現されるよう、強く要望する。

- 1 神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うこと。とりわけ「同一価値労働同一賃金」の観点に立ち、フルタイム正規労働者の賃金水準への接近を基本に、その改定を図ること。また、特定最低賃金の改定については、大企業の組織労働者の賃金水準への接近を基本に、その改定を図ること。
- 2 最低賃金の改定に当たっては、地方最低賃金審議会の自主性を尊重すること。
- 3 最低賃金論議については、生活保護との整合性が明確にされたことから、早期に生活保護を下回らない「生活できる最低賃金」となるよう適切な対応を図るとともに、その趣旨及び内容の周知徹底を強化すること。

非核三原則の法制化を求める意見書

我が国は、世界で唯一の被爆国であり、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現は被爆者の悲願であり、国民共通の願いである。

葉山町議会は、昭和58年3月に「非核平和都市宣言」に関する決議を、また、町は平成4年11月に「葉山町非核平和都市宣言」を行い、国是である非核三原則が堅持されることを強く希求してきたところである。

しかしながら、依然として核兵器が存在し続ける世界にあって、我が国は、唯一の被爆国として、更に大きな役割を果たすことが求められており、非核三原則の法制化は、我が国の断固とした核兵器廃絶と恒久的な世界平和を求める意志表示であり、国際社会において主導的役割を發揮することができるものと確信する。

よって、葉山町議会は、国会及び政府に対し、非核三原則の法制化を求めるものである。

少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

日本は、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数がOECD諸国に比べ多くなっている。地方が独自に実施する少人数学級は高く評価されており、一人ひとりの児童生徒に丁寧な対応を行うためには、1クラスの学級規模をさらに引き下げる必要がある。

三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、自治体財政は圧迫されている。教育の機会均等と水準の維持向上を図るためには、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元することが必要である。よって、政府に対し、平成25年度の予算編成において次の事項の実現を強く要望する。

- 1 少人数学級を一層推進し、学級規模は中学校までは35人以下学級とすること。
- 2 義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに国負担割合を2分の1に復元すること。

結 果

議案・意見・請願・陳情等		議員氏名（議席順）												結 果		
		鈴木道子	近藤界一	窪田美樹	守屋巨弘	田中孝男	中村文彦	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	長塚かおる	横山すみ子	金崎ひさ		待寺真司	畑中由喜子
意見	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
請願	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に関わる意見書採択についての請願	○	○	○ 討論	× 討論	○	○	○	○	○	○ 討論	○ 討論	○	○	-	採択
陳情	「住宅リフォーム資金補助金制度」の事業継続を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承
陳情	小学校 保育園の給食に関する陳情	×	○	○ 討論	× 討論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	不採択
陳情	神奈川県最低賃金改定等についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
陳情	総合福祉部会の骨格提言に基づく新たな障害者総合福祉法制度の確立を求める国への意見書提出に関する陳情書	×	○	○ 討論	×	×	×	×	× 討論	×	×	×	×	×	-	不採択
陳情	「非核三原則の法制化を求める」に関する陳情書	○	○	○	○ 討論	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承

◎は提案者 ○は賛成 ×は反対
 (注) 葉山町小児の医療費の助成に関する条例の原案提出者
 *議長に表決権はありませんが、可否同数のときのみ議長が決めます。

みなさんからの 請願・陳情・要望のゆくえ

- ◎少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に関わる
 意見書採択についての請願.....採 択
- ◎「住宅リフォーム資金補助金制度」の事業継続を求める陳情.....趣旨了承
- ◎小学校 保育園の給食に関する陳情.....不採 択
- ◎神奈川県最低賃金改定等についての陳情.....採 択
- ◎議員報酬削減を求める陳情書.....審議未了
- ◎総合福祉部会の骨格提言に基づく新たな障害者総合福祉法制度の確立を求める国への
 意見書提出に関する陳情書.....不採 択
- ◎「非核三原則の法制化を求める」に関する陳情書.....趣旨了承
- ◎私立幼稚園就園奨励費に関する要望書.....机上配付

◆◆◆なお継続して審査します◆◆◆

- ◎建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情
- ◎ごみ問題を軸に葉山町政の原点である第 3 次葉山町総合計画後期基本計画をより良いものにするために議会としてできる限りの取り組みをされるよう求める陳情書

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

「住宅リフォーム資金補助金制度」の事業継続を 求める陳情

陳情の要旨は、次のとおりです。

住宅リフォーム資金補助金制度は、住民の住環境改善と有効な既存住宅活用につながり、新たな雇用を生み、その波及か

ら地域経済の活性化を促進し、内需拡大型・地域循環型の景気対策となっている。

40都道府県330市区町村において実施されている。

東日本大震災により木造戸建住宅の防災、減災、エコ対策等の重要性が改めて見直され、重要性が高まっているとし、同制度の継続を求めているものです。

審査の中で、委員からの「なぜ、2年間の期限付きなのか」「予算を超えた申請があった場合はどうするのか」「要綱でなく条例化する意思はないのか」との質疑に対し、担当課からは「町長の意向で2年間延長した。その後は景気の動向や町の財政状況を見ながら判断する」「予算を超えた場合は、補正又は予備費で対応し、打ち切ることはない」「他の補助制度の見直し等の段階で条例化の検討かと考えている」との答弁がありました。

「当面、2年間延長され、継続されるので、陳情の願意は達成された」と、全会一致で趣旨了承すべきものと決しました。

なお、委員から条例で制度化することを求める意見があったことを付記します。

神奈川県最低賃金改定等 についての陳情

陳情の要旨は、次のとおりです。

今日労働者の非正規化等により、非正規労働者の増大とそれに伴う低賃金層が増大している。

最低賃金制度は、地域別最低賃金の改善、特定最低賃金による事業の公

正競争の確保、均等・均衡待遇が重要な課題であるとし、

1 神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うこと。

2 最低賃金の改定に当たっては、地方最低賃金審議会の自主性を尊重すること。

3 早期に生活保護を下回らない生活ができる最低賃金となるよう、その趣旨及び内容の周知徹底を強化すること。

以上3点について意見を国に提出するよう求めているものです。

審査では、「願意は理解できるが、意見書の提出は必要ない」「過去には、審査時期等の問題から趣旨了承としたこともあったが、今回は神奈川県最低賃金審議会の開催前でもあり、生活保護制度が問題となっているからこそ地方から意見を提出する必要がある」との意見がありました。

採決の結果、賛成多数により採択し、国に対し意見書を提出すべきものと決しました。

審査では、「国会において、決議を行ったが、実現に至っていない。町は『非核平和都市宣言』

の自治体として、採択して意見書を提出すべきである」「核兵器のない世界を追及することには賛成だが、米国との同盟関係を考えたときに原子力潜水艦の取締りの問題もある。日本の周辺国でも核兵器を保有しており、破棄は考えられない。理想と現実を分ける必要がある」との意見があったが、合意形成ができ、

全会一致により趣旨了承し、国に対し意見書を提出すべきものと決しました。

委員 鈴木道子

教育民生

小学校 保育園の給食に 関する陳情

本陳情は、福島第一原子力発電所の事故以来、放射性物質に汚染された食品による、子どもたちの内部被曝の実態を把握するため、小学校及び保育園給食の放射線量測定を、定期的かつ継続的に



実施することと、必要であれば関係予算の見直しを求めるものです。

審査の中で、「今年度は一学期に一度、季節ごとの食材を調査する。測定時間も2千秒とし、より精度を高めた」「4月24日の検査では、不検出であった。今後は、問題が発生した場合は、迅速に対応する」と担当課から説明がありました。

委員から、「測定方法等陳情者の願意は概ね達成されている」「町は誠意を持って対応している」など趣旨了承との意見が大勢を占めました

が、「検査回数が少ないです。そこで採決を行った結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。本議案は、子育て環境のさらなる充実を図るため、通院に係る医療費の助成対象を「小学校2年生」までとしているものを「小学校6年生」までに拡大すること、及び議会の積極的な関与を可能とするために、条例に基づく制度とするよう、議員から提出されたものです。



ざるので再考を求めたい」として採択を強く求める意見がありました。

その説明を踏まえ、提出者から、「①通院に係る助成対象を小学校4年生までとし、②さらに同学年まで所得制限なしで、③条例提案する」という3点を町長が同意するのなら、議案を撤回するとの申し出があり、委員総意により賛同が得られましたので、正副委員長から町長に申し入れをしましたが、特に所得制限の撤廃については受け入れられず、合意には至りませんでした。

本議案は、子育て環境のさらなる充実を図るため、通院に係る医療費の助成対象を「小学校2年生」までとしているものを「小学校6年生」までに拡大すること、及び議会の積極的な関与を可能とするために、条例に基づく制度とするよう、議員から提出されたものです。

審査を通して、各委員から「地方自治法第222条の予算を伴う条例についての制限」について集中して質疑や意見等がありました。また、担当課への質疑の中で、「6月議会で、通院に係る医療の助成対象を小学校4年生まで拡大する予算を提案

する」との説明がありました。

その説明を踏まえ、提出者から、「①通院に係る助成対象を小学校4年生までとし、②さらに同学年まで所得制限なしで、③条例提案する」という3点を町長が同意するのなら、議案を撤回するとの申し出があり、委員総意により賛同が得られましたので、正副委員長から町長に申し入れをしましたが、特に所得制限の撤廃については受け入れられず、合意には至りませんでした。

本議案は、子育て環境のさらなる充実を図るため、通院に係る医療費の助成対象を「小学校2年生」までとしているものを「小学校6年生」までに拡大すること、及び議会の積極的な関与を可能とするために、条例に基づく制度とするよう、議員から提出されたものです。

審査を通して、各委員から「地方自治法第222条の予算を伴う条例についての制限」について集中して質疑や意見等がありました。また、担当課への質疑の中で、「6月議会で、通院に係る医療の助成対象を小学校4年生まで拡大する予算を提案

する」との説明がありました。

少年数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書採択についての請願

本請願は、将来を担い、社会基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要なものであることから、①少年数学級を推進すること。具体的

学級規模は、O E C D諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、中学校3年生までは35人以下学級とすること、②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元すること。以上の2項目につき、地方自治法99条に基づく国に対する意見書の提出を求めているものです。

審査では、「少年数学級を推進することは、教職員増員を伴い人件費の増加につながる」との不採択を求める意見もありましたが、「子どもたち

が、日本全国どこの地域においても、一定水準の教育を受ける環境を整えるべき」との意見が大勢を占めました。

その家族を参画させること。③新たな法制度の施行に当たっては、法制度を円滑に進めるための、地方自治体の財源確保について十分に配慮すること。以上3点について、国に対して意見書を提出することを求めているものです。



総合福祉部会の骨格提言に基づく新たな障害者総合福祉法制度の確立を求める国への意見書提出に関する陳情書

本陳情は、現在国会で審議されている「障害者総合支援法案」に関して、

①障がい者制度改革推進会議総合福祉部会が取りまとめた骨格提言を最大限尊重し、法制度に反映させること。②障害者の権利に関する条約の基本精神を踏まえ、障害者と

多くの委員から「当陳情内容では審査すべき時期を逸している」との意見が出されました。一方で、「修正案にどの程度陳情者の願意や骨格提言が取り入れられているか調査しないと結論は出せない」として継続審査の動きがだされましたが、賛成少数で否決されました。よって採決の結果、賛成少数により不採択されました。

委員長 待寺 真司

議会運営

第2回定例会開催中の去る6月21日に、当委員会では、主に次に掲げる案件について審査しました。

1 議会改革について

本件の中では、既報のとおり項目3番目の「災害時の議会及び議員の対応方について検討」に関し、4人の委員で組織するワーキンググループが鋭意協議を進めてきたところですが、成案を得ましたので、荒井直彦副委員長が検討の経緯等を当委員会委員全員に改めて説明し、承認を得ました。

これは、「葉山町議会災害時行動マニュアル」と称して、災害発生時における議会あるいは各議員の行動指針を時系列的に規定したものです。その骨子は以下の通りです。

◎初動（町災害対策本部設置時）設置後 1時間以内

○趣旨 議長は町が災害対策本部を設置の場合、議会災害対策本部の設置を決定、同本部長は議長又は議長が指名した議員が務める。

◎初期（議会災害本部設置後住民避難など緊急活動中） 3日前後

○趣旨 各議員は、議会災害対策本部長の指示に基づき、地域における情報収集及び支援活動等の協力をを行う。

◎中期（緊急的対応から応急活動移行後）

○趣旨 町災害対策本部との情報交換等、また被災者に対する助言及び相談受付等を行う。

◎後期

○趣旨 町災害対策本部への協力を基本とし、被災状況の掌握、避難所等の状況確認、更には必要の都度、国・県等への諸要請活動を行う。最終的には議長は町災害対策本部が解散した際、議会災害対策本部の解散を決定。



2 議員研修会開催について

町議会では、毎年議員一人ひとりの議員としての専門知識の取得等のため、「議員研修会」を実施してまいりました。

今回は、初めての試みとして町民の皆様にご公開することとしました。その要領は本号16ページにあるとおりです。

町民の皆様が、日頃関心をお持ちであろう町議会の報酬制度・議員定数等についても講師が論じてくれると考えております。

委員長 守屋亘弘

ごみ問題特別

所管事務調査

5月25日 「ごみ施策の進捗について」職員の出席を求め調査を行いました。3月1日に指摘された以下の2項目について説明を求め、質疑を行いました。

*クリーンセンター職員を中心にとめた戸別収集計画の進行状況の説明

*町長説明の4年間で30%減量の数字の根拠

職員から、スケジュールでは平成25年2月に戸別収集・資源ステーション地区の一部拡大を行う。全域実施時期については、一部拡大地域の検討状況により決定するなどの説明がありました。

質疑の後、ごみ量の変動の資料、クリーンセンターの戸別収集についての検討の経過、直接搬入ごみ量の急増の分析などの資料要求をすることを決定しました。

委員長 守屋亘弘

6月20日 町長及び職員の出席を求め、以下の3項目について、調査を行いました。

「クリーンセンター排出水の場外排出調査報告について」

環境課より、クリーンセンター排水中から基準値オーバーのダイオキシソ類が排出された問題について、平成14年度までさかのぼり詳細な調査を行った報告があり、多くの質疑が出ました。

場外に排出しないはずの排出水が、どのような経過で場外に排出されたかについては、メーカー、管理会社等まで調査したものの、不明な部分が残っており、委員からさらに調査すべき項目が指摘されました。

「ごみ減量推進会議の会議概要について」

戸別収集地域の一部拡大の問題、全域実施への過程など、不透明な部分について、各委員から質疑が行われました。

「ごみの現状分析について」

ごみ処理基本計画、特に基準年、ごみ量、減量目標などを、町長説明の目標や現状にあった数字に早期に改定するように、当委員会から町長に対し中間的な申し入れを行うべきとの意見が出されました。

6月25日 「ごみ処理基本計画」改定についての中間申し入れの案を検討し、申し入れを行うことを決定しました。決定を受け翌26日に、ごみ問題特別委員会正副委員長で町長と面談し、「ごみ処理基本計画」改定についての中間申し入れ書を手渡し、申し入れの趣旨説明を行いました。

委員長 横山すみ子

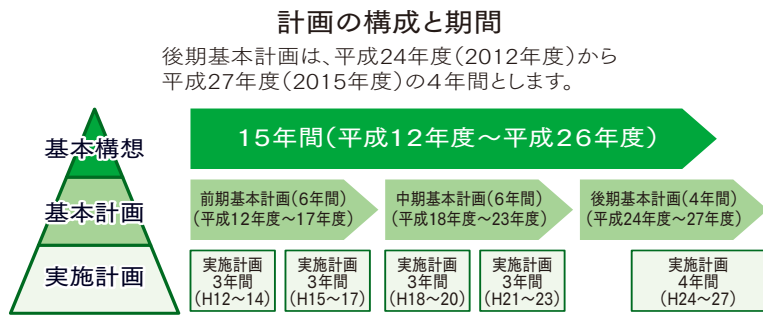


庁舎のグリーンカーテン

総合計画特別

「第三次葉山町総合計画後期基本計画の策定について」は、本特別委員会に付託され、審査しました。議案の概要は、次のとおりです。

本町では、平成12年3月に平成26年度を目標とする「第三次葉山町総合計画」を策定しました。



その基本構想では、本町長等から説明を受け、質の将来の姿を「海とみどり」にひろがる交流文化のまち「葉山」とし、ま

「第三次葉山町総合計画後期基本計画の策定について」は、本特別委員会に付託され、審査しました。議案の概要は、次のとおりです。

本町では、平成12年3月に平成26年度を目標とする「第三次葉山町総合計画」を策定しました。

今回提案された後期基本計画は、現基本構想の集大成をなすものです。本来であれば、基本構想の残り期間である平成26年度までの3年間を計画期間とするところですが、町長マニフェストとの整合を図りながら、町長任期にあわせ平成27年度までの4年間を計画期間として、提案されました。

審査は、6月13日及び14日の2日間、担当部課の策定など、今後、町に

町長等から説明を受け、質の将来の姿を「海とみどり」にひろがる交流文化のまち「葉山」とし、ま

疑応答を行い、さらに、町長に出席を求め、同月14日及び15日の両日、10項目18点について町長に

対して質問を行いました。審査で出された主な意見等は、次のとおりです。

30日	議員懇談会 全員協議会	3日	3月	16日	全員協議会	6月	1日	議会運営委員会
25日	ごみ問題特別委員会	16日	5月	16日	埼玉県入間郡毛呂山町議会議事行政視察来庁	6日	6日	議会広報特別委員会
18日	総務建設常任委員会	7日	5月	7日	全員協議会	5日	7日	議会広報特別委員会
16日	教育民生常任委員会	18日	5月	18日	埼玉県入間郡毛呂山町議会議事行政視察来庁	6日	8日	議会広報特別委員会
7日	総務建設常任委員会	17日	5月	17日	ごみ問題特別委員会	5日	8日	議会広報特別委員会
18日	議会広報特別委員会	13日	4月	13日	議会広報特別委員会	4日	7日	補正予算特別委員会
17日	議会運営委員会	6日	4月	6日	議会広報特別委員会	3日	11日	補正予算特別委員会
13日	教育民生常任委員会	5日	4月	5日	議会広報特別委員会	2日	13日	総合計画特別委員会
6日	議会広報特別委員会	18日	3月	18日	議会広報特別委員会	1日	14日	総合計画特別委員会
5日	議会広報特別委員会	17日	3月	17日	議会広報特別委員会	1日	15日	総合計画特別委員会
26日	議会運営委員会	13日	3月	13日	議会広報特別委員会	1日	18日	総合計画特別委員会
16日	議会運営委員会	6日	3月	6日	議会広報特別委員会	1日	19日	総合計画特別委員会
16日	議会運営委員会	5日	3月	5日	議会広報特別委員会	1日	20日	総合計画特別委員会
16日	議会運営委員会	4日	3月	4日	議会広報特別委員会	1日	21日	総合計画特別委員会
16日	議会運営委員会	3日	3月	3日	議会広報特別委員会	1日	25日	総合計画特別委員会
16日	議会運営委員会	2日	3月	2日	議会広報特別委員会	1日	26日	総合計画特別委員会
16日	議会運営委員会	1日	3月	1日	議会広報特別委員会	1日		議会運営委員会

議会活動日誌

今回は、第1回定例会終了以降、第2回定例会終了までの活動報告をいたします。



ホールドファストベイ市の学生

質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

問 総合計画後期基本計画策定に、基本となる統計調査や実態調査、国・県との協議や調整を行ったのか。



問 市街地整備計画は平成9年策定の都市計画マスタープランが基本だが、実情に合うのか。また、

調整は行っていない。線引き見直し市街化区域への編入は十分検証する。国県道整備は、逗子市や

を続ける。

期的に手紙等で近況報告等行っている。ホールドファストベイ市側も同様

町長 基となる数値は企画調整課の主体で行ったが、表記以外は平成22年度アンケート内容等から推計をした。県・国との

道路の整備計画は、逗子市や県と協議したのか。

町長 市街地の具体的整備は今後個別計画で示す

町長 町独自の交流事業は平成22年度以降財政理由から中止し、現在は定期的に手紙等で近況報告等行っている。ホールドファストベイ市側も同様

笠原俊一

町長 国際交流事業は今後どうなるのか
財政状況を見ながら節目の時期には実施したい

総務部長 木古庭・上山口地区の市街化区域へ編入の具体的戸数、あるいは面積等の数値はない。

問 だが、今後節目の年には交流事業を実施したい。
問 まちづくり憲章を制定し、町づくり方針を町民と共有してはどうか。

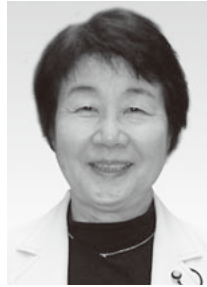
問 清水建設株式会社から土地・建物寄付の申し出があったが、町が寄付を受ける際の基準を伺う。

町長 1億数千円から2億円以上かかるのでは、という議論をしている。

町長 責任は私の支持団

問 消防職員の増員についての町長の見解は。

町長 現状の町組織体制では難しい。



横山すみ子

町長 マニフェスト作成・配布の責任はだれにあるか
責任は私の支持団体にある

問 借地権、その他の特殊な義務の負担がないもの。また隣地との境界が確定されているものである。

町長 資源化・減量化の取り組みの成果などを見ながら、ごみ処理基本計画改定を検討する。また、クリーンセンターの耐震化は廃炉に向けて計画をつくっていく中で検討する。職員には避難経路等

問 町長マニフェストの作成・配布の責任はだれにあるのか。

町長 責任は私の支持団





県内初 逗子市で行われたチャレンジデー



土佐洋子

町長 防災行政無線デジタル化とSNS
災害時の情報力強化は

問 防災行政無線の機器のデジタル化で本当に聞きやすくなるのか。

総務部長 町内会からも要望があり、増設に向けて、進めていきたい。

総務部長 難聴地域も解消され、聞きやすくなる。掘内会館から高台への避難路に、誘導灯がモ

問 新たな災害情報伝達手段としてのSNSの検討・活用については。

総務部長 誘導灯については横断的な対応で、避難路の矢印は海抜表示板とあわせて検討する。

問 姉妹都市草津町と災害時の連携の構築は。

町長 草津町と相談する。人間ドックの補助復活はできないか。

町長 推進していきたい。

問 24時間365日対応可能な手話通訳システムの導入は。

町長 他自治体の動向等、どのような方法がベストなのかを検討する。

問 海抜表示板が100カ所に設置されたが、さらなる増設はできないのか。

問 新たな災害情報伝達手段としてのSNSの検討・活用については。

総務部長 誘導灯については横断的な対応で、避難路の矢印は海抜表示板とあわせて検討する。

問 姉妹都市草津町と災害時の連携の構築は。

町長 草津町と相談する。人間ドックの補助復活はできないか。

町長 推進していきたい。

問 県内初の、逗子市で開催されたスポーツチャレンジデーを来年、葉山町でも開催できないか。

町長 さまざま模索しながら、町としてぜひ取り入れていきたい。



荒井直彦

町長 今後、必要性を勘案し増設する
海抜表示板の今後の設置計画について

問 町民からの海抜表示板の新規の設置要望は。

総務部長 現在、長柄町内会と三ヶ浦町内会から要望があり、早急に増設に向け進めていく。

問 設置場所の対象は小学校の通学路や川のそば、横断歩道などが対象になるのでは。

総務部長 認識としては、当然対象の範囲であり、町独自の考えも含め、前向きに調整していく。

問 避難地と避難場所の新設に関して。

町長 当該要望場所が適正であるかどうか、安全性を調査し、当町防災会議に諮り、適当であると認められた場合は直ちに増設する。

問 今年の防災訓練の内容は。

町長 日付は9月1日で開催は葉山小学校で開催する。訓練と同時に総合的な防災イベントとなるよう計画中である。

問 南郷上ノ山公園の施設整備について。

教育長 今後の整備については、野球場や多目的グラウンドを含む都市公園として利用者の利便性を損なわないように進めていく。

問 南郷上ノ山公園の施設整備について。

町長 地方税と国民健康保険料の徴収対策について。

町長 機構改革の流れの中で歳入について全庁的に議論を経た上で、いい体制を整えていきたい。

問 南郷上ノ山公園の30周年に向けての整備は。

町長 町としてどういった方向性をもって30周年を迎えるべきなのか、今後、議論をしていく。

問 地方税と国民健康保険料の徴収対策について。





改修が急がれる葉山小学校1階トイレ

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

問 学校と地域の合同防災訓練に

長塚かおる

学童および保育園の延長保育について
町長 後期基本計画で目標値として20時を掲げた



修が数年のうちに必要。

空調設備に交換し、合理的な運用が必要だ。

問 町長の考えは。

町長 教育委員会の意向をスムーズに行うために

町長 学校の避難運営をスムーズに行うために

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

町長 学校の防災訓練を密にしたい。共助を掲げる町内

待寺真司

「ごみ処理基本計画」の改正に着手すべき
町長 意識はしっかりある。時期は今では答えられない



画」の改訂を行うという意識はしっかりある。時期は今では答えられない。

問 町所有の公共建築物耐震化への取り組みは。

町長 クリーンセンター各施設は、老朽化が進んでいる。廃炉に向けた計画を立てる中で、施設全体の耐震も含め、検討しなくてはならない。

町長 児童・生徒が通常使用する校舎・体育館の耐震化は平成22年度に終了。一色小新館は6月補正予算で、耐震補強実施設計を計上。上山口小旧校舎は、職員の検討委員会を立ち上げ、地域の活用も含め検討に入った。

町長 地域防災計画改正の柱と、災害ボランティアセンターの位置づけは。

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組

町長 避難場所や避難路の確保を主要な検討課題とし、今年度中に取り組



非常時の災害ボランティアセンター設置予定場所

中村文彦

町長は矛盾している

町長 どんぶり言いつもりはない



町長 葉山町の財政はあくまで厳しい状況にある。

問 なぜ、今まで町長記者会見のたびに事務局から入っていた連絡が、最近、議員にないのか。

町長 一定の成果だと認識をしている。

問 町長は、議員時代に森町長に対して一般質問で、職員給与の削減を、追及したことがあるか。

町長 あると思う。

問 町長が議員時代の一般質問の履歴を見返した

が、追及した経緯はない。指数が、全国

1位になったのは、森町長の問

責に対する町長にも責任があるのではないか。

町長 問責には賛成して

いる。その後の不信任の

ときは反対をしている。

問 町長は、矛盾を

法討議資料 いるとは御自身では思わ

で、人件費削減を訴えてお

り、森町長時代の失政で削減が

できない

言いつもりはない。

近藤昇一

長柄、松久保交差点の安全対策を

町長 粘り強く県警に要望する



戸別収集や資源ステーションなどの具体的な導入方法について引き続き

総務部長 検討したい。

問 防災行政無線を補完

から草木類の別収集による堆肥化を行っている。

ラジオを採用しては。生ごみの自家処理を推進し、事業系ごみは分別

の徹底を図り、減量化・資源化に取り組みたい。

問 地域防災計画見直しを

町民参加で、町民参加で、

町民参加で、町民参加で、

町民参加で、町民参加で、

町民参加で、町民参加で、

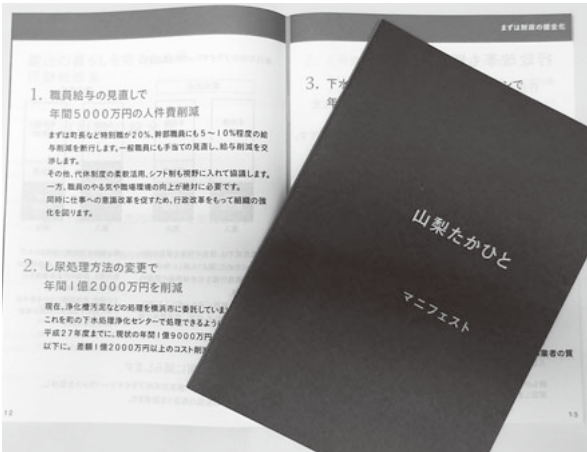
町民参加で、町民参加で、

町民参加で、町民参加で、

町民参加で、町民参加で、



松久保交差点



問 NHKの報道で、町長が、財政が厳しいと発言すると、大変過度に反応する方もいる。葉山が財政危機状態であるのか、または財政破綻の危険性があるのか伺う。

問 次に、ラスパイレ

指数が、全国

1位になった

のは、森町長

の問責に対する

町長にも責任



葉山小学校裏の急傾斜地

窪田美樹

5月3日の豪雨被害その後の対策は
町長 担当部署により迅速な対応をした



面に警戒避難体制を定めるなど、ソフト面にも取り組む。

問 葉山小学校裏の急傾斜地域指定の進捗状況は。

答 国民健康保険料の旧

都市経済部長 県に参考

意見を添え副申している。

問 5月3日の土砂崩れ

により危険度が増している

をさしている。

問 他市の動きはもつと

早いが見ているか。

都市経済部長 参考とし

再度県に出

向きたい。

問 中学校給

食検討委員会

の進捗状況は。

教育長 P T

A等を含めた

拡大委員会

で検討を進めて

いる。

問 給食の放

射能検査回数

が少ないので

守屋巨弘

昨年度特別交付税の削減額は
町長 約650万円



問 平成22年11月策定の

「葉山町中期財政計画」

の中に、国家公務員や類

似する地方公共団体等と

比較して均衡を保てる給

与水準に改めるとも

に、地域手当を国が定め

る基準に合わせた支給率

に引き下げるとある。一

般職員の地域手当削減が

できないと、地方交付税

のうち特別交付税が削減

され、かつて5カ年で約

4100万円となった。

昨年度の特別交付税の削

減額は。

町長 地方特例交付金の

削減措置は約650万円。

問 平成21年8月25日付

の「地方公務員の給与

改定に関する取り扱い等

団体名	18年	19年	20年	21年	22年	23年	対前年増減率 B-A
(指定都市)							
横浜市	105.6	103.2	103.6	104.6	105.1	103.8	▲1.3
川崎市	102.4	101.7	102.3	103.2	103.9	103.7	▲0.2
名古屋市	100.8	101.0	101.8	100.4	100.9	100.4	▲0.5
(中核市)							
津市	102.0	102.6	103.1	99.6	99.3	101.5	▲2.2
(特別市)							
堺市	101.4	102.3	102.0	102.9	102.3	102.4	0.1
小田原市	100.1	100.4	100.5	100.6	101.5	101.2	▲0.3
茅ヶ崎市	101.0	101.2	100.9	101.7	102.5	102.0	▲0.5
藤沢市	98.9	100.0	100.9	101.3	101.3	100.8	▲0.5
大和市	100.6	102.0	101.9	101.0	100.8	100.5	▲0.3
(その他の市)							
鎌倉市	96.4	102.0	102.4	102.1	102.6	102.3	▲0.3
藤沢市	102.4	101.4	103.6	102.8	104.1	104.7	0.6
鎌倉市	99.2	101.0	101.3	101.2	100.8	101.1	0.3
三浦市	100.0	99.8	99.1	98.4	98.4	98.0	▲0.4
藤沢市	99.5	99.3	100.1	100.3	100.5	100.3	▲0.2
伊豆市	98.2	97.6	99.5	99.3	100.7	98.9	▲1.8
伊豆市	98.9	100.0	100.0	101.0	100.5	100.4	▲0.1
伊豆市	99.8	100.2	100.0	99.9	100.9	101.3	0.4
伊豆市	99.3	101.5	102.9	101.0	98.2	99.9	1.7
伊豆市	100.3	100.4	100.9	101.4	101.6	101.2	▲0.3
(町)							
葉山町	101.3	103.0	103.5	104.4	102.8	104.9	▲2.1
葉山町	99.3	99.8	98.7	98.3	96.7	98.6	▲1.9
葉山町	95.0	96.4	97.0	97.5	96.1	95.6	▲0.5
二宮町	91.4	91.8	93.2	93.9	95.1	95.0	▲0.1
中井町	94.1	95.4	95.0	95.2	95.3	95.8	0.5
大宮町	93.2	95.4	94.0	94.6	95.3	97.0	1.7
松田町	96.1	93.4	93.6	93.0	94.8	95.9	1.1
北山町	96.9	98.3	96.4	96.7	97.2	98.5	1.3
藤沢町	100.0	100.4	101.4	101.2	101.5	101.3	▲0.2
藤沢町	91.7	93.8	95.2	95.8	96.7	96.7	0.0
藤沢町	89.2	89.7	90.5	90.1	90.0	91.0	1.0
藤沢町	95.9	96.5	97.5	98.1	96.9	96.5	▲0.4
藤沢町	97.5	96.9	97.2	97.5	98.1	98.2	0.2
藤沢町	89.6	93.9	91.5	92.3	93.0	92.0	▲1.0
(城山町)	100.9	--	--	--	--	--	--
(藤野町)	98.6	--	--	--	--	--	--
(津久井町)	--	--	--	--	--	--	--
(藤沢町)	--	--	--	--	--	--	--
市町村平均	100.6	101.8	102.2	102.4	102.8	102.3	▲0.5
(参考)							
市町村平均は単純平均とは異なる。							
(参考)							
鎌倉市	101.1	102.1	102.4	100.2	100.1	102.9	2.9

ラスパイレス指数の推移

「葉山町中期財政計画」の中に、国家公務員や類似する地方公共団体等と比較して均衡を保てる給与水準に改めるとともに、地域手当を国が定める基準に合わせた支給率に引き下げるとある。一般職員の地域手当削減ができないと、地方交付税のうち特別交付税が削減され、かつて5カ年で約4100万円となった。昨年度の特別交付税の削減額は。町長 地方特例交付金の削減措置は約650万円。問 平成21年8月25日付の「地方公務員の給与改定に関する取り扱い等

は。問 給食の放射能検査回数が少ないのでは。問 中学校給食検討委員会の進捗状況は。教育長 P T A等を含めた拡大委員会での検討を進めている。町長 給食の放射能検査回数が少ないのでは。問 国民健康保険料の旧



寄付申出のあった土地

金崎ひさ

清水建設からの土地寄付は

町長 現状のまま受けるつもりは、今はない



ある冊子型マニフェストを配布した会の代表者は、町長の後援会長か。

町長 選挙に際し、信頼がおけるので後援会長をお願いした。マニフェストの内容は一つでも多く実行するよう努める。

問 6月末が寄付の結論を出す期限ではないか。

町長 イエスカノーかの返事をしる、ではない。

問 町政運営の要となるマニフェストについてその信憑性を伺う。違反で

町長 裁判が終わり次第関係回復に努める。

問 ごみ減量化について町民にお願いする前に町関連施設からのご

町長 年内に決着と思

問 ごみ減量化について町民にお願いする前に町関連施設からのご

町長 年内に決着と思

問 ごみ減量化について町民にお願いする前に町関連施設からのご

町長 年内に決着と思

問 ごみ減量化について町民にお願いする前に町関連施設からのご

鈴木道子

「財政の見える化」から公会計制度改革をすべきだが

町長 まず全職員が財政につき同等な知識を持つことが必要



建物の非構造部材の耐震化が必要だが、どう対処するか。

総務部長 研究していく。災害時移動手段として消防バイクを提案する。

問 防災士試験等への公費助成実施について伺う。

町長 対応を検討する。

問 海抜と標高表示は同じだが、近隣や県と統一すべきだ。総務省は海抜表示を進めるそうだが。

総務部長 指摘・提案をふまえて進めていく。

問 避難路表示は道路銚子だけでなく、昼夜表示の点から道路課との連携を。

総務部長 検討する。

問 三ヶ浦町内会の要望へは、どう対処するのか。

総務部長 地元と相談しながら場所を決める。

問 昨年の地震で23都道府県の国公私立学校58

19校で物的損害があり、負傷者も多数出た。

整備にとりかかる

町長 まず財政について全職員が同等な知識を持つことが必要だ。これが優先課題と考えている。

問 子供向けホームページの作成を提案するが。

町長 1、2年かけて大幅改定するつもりだ。

問 提出書類の簡素化を点検実施すべきだが。

町長 改善を図っていく。

問 読み書き代行サービスを提案するがどうか。

総務部長 窓口対応等の検討委員会で検討する。

問 「財政の見える化」の点で、複式簿記、発生主義の公会計制度改革を実施すべく体制

整備にとりかかる

整備にとりかかる

整備にとりかかる

整備にとりかかる



消防職員の朝の体操

議員研修会 公開のご案内

主催：葉山町議会

町議会では、毎年地方分権時代に対応した議会の活性化と議会改革を図ることなどを目的に、議員研修会を実施しています。

このたび、初めての試みとして、下記要領にて町民の皆様には研修会を公開することといたしました。

会場の都合上、傍聴定員は先着20人までとなりますが、皆様方のお越しをお待ちしております。

記

- 日 時 平成24年10月6日（土） 13：30～16：30
- 会 場 葉山町議会 協議会室1
- 演 題 「今後の町村議会のあり方」
～地方議会の役割や議員報酬・議員定数の考え方などについて～
- 講 師 山梨学院大学 江藤 俊昭 教授
- 申込み 傍聴をご希望の方は、下記まで電話にてお申し込みください
(定員になり次第、締切とさせていただきます)。

◇お問い合わせ先◇ 議会事務局 046 (876) 1111 内線 421

表紙説明

7月7日に森戸海岸にて、葉山海岸海上保全祭と海開き式が執り行われました。お天気が心配されていましたが、雨に降られることもなく、暑くもなく、海開き式日和となりました。



山町商工会青年部主管のビーチフラッグの大会は300人を超えるエントリーで盛り上がりました。



35年程前の夏休み、クラス、学年を越えて学校行事で水泳教室を行っていました。

当時はスイミングスクールもなく、あまり泳げなかった私は、数メートルからスタートし、プールの横幅をバタ足で泳ぎ、クロールを教わり、息継ぎと少しずつ距離が伸び、数日間の教室の最後の日、初めて25mを泳ぐことができました。

最後の数mの苦しかつ

7月20日記 窪田美樹

たこと、泳ぎきった時に先生や友人が拍手をして喜んでくれたことを学校プールを見ると思い出します。

時代も移り、学校行事も様変わりしています。先生方が、保護者、地域の方、先生方と共に子どもたちのことを考え、見守り、育てていくことになりました。

夏休みが始まりましたが、笑顔で新学期を迎えられることを願っております。

議長 畑中由喜子
 議会広報特別委員会
 土佐洋子 窪田美樹
 中村文彦 長塚かおる
 金崎ひさ 待寺真司

平成24年 第3回定例会 は
9月5日(水)
 からの予定です。
 皆様の傍聴をお待ちしています。

議会の最新情報は
 ホームページに公開しています
<http://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

議員の紹介、議会日程、会議録検索、
 審議議案一覧、意見書・決議、議会交際費、
 インターネット中継など